

● 移住交流支援センターだより ●



NPO法人
グリーンパレー
の伊藤が
お届けします。
お問合せ
☎676-1177
IP: 2028

郷土本を寄贈

いただきました

移住交流支援センターでは、移住希望者とマッチングできた空き家の、荷物整理のサポートをしています。ちょうど一年くらい前から相談を受けていたお家のマッチングが成立し、12月に片付けのお手伝いをさせていただきました。こちらのお家は3代にわたり学校の先生をなさっていたお家で、たくさん蔵書の中から徳島・神山の郷土本をまとめてお預かりすることになりました。

寄贈された郷土本は、農村環境改善センターの1階「ほんのひろば」コーナーに置いてあります。ぜひ一度ご覧になってみてください。小川さん、ご協力ありがとうございました。

新規移住 相談件数

10月…10件
11月… 9件



今月のインタビュー

昨年5月に移住され、東青井夫のSansan 神山ラボで働く、辰濱健一さんにお話を伺いました。神山ラボは2010年に開設され、神山を代表するサテライトオフィスの1つです。辰濱さんの神山での暮らし、働き方をご紹介します。

〈移住のきっかけ〉

大学卒業後に徳島市内でプログラマーとして働き始め、2014年の3月にSansanに転職しました。初めは市内から車で通勤していましたが、だんだん休みの日も神山に遊びに来るようになって、ひと通り四季を経験して仕事にも



たつはま 辰濱 けんいち 健一 奈良県出身

神領字中津在住

〈働き方について〉

仕事ではスマートフォンアプリの開発をしています。同じアプリ開発チームの残り3人のメンバーは東京勤務です。チームの朝会は、毎日パソコンのビデオチャットをつないで行い、業務中の連絡はチャットを通じて文字だけでやり取り、直接話したい時だけまたビデオチャットに接続します。月1回の東京出張では、同僚と食事に行けたり、イベントに参加して他社の人と交流できたり、いい刺激になっています。

〈暮らしについて〉

神山に引越してからは通勤時間が短くなったおかげで、自分の時間が増



Sansan神山ラボでの仕事風景

え、仕事の調べ物をする余裕も生れています。また趣味でエレクトーンやトランペットを演奏するのですが、吹奏楽仲間と楽団を結成したら、芸能大会やお祭りにもお声かけいただけるようになりました。ゆくゆくは自主コンサートを開催して、飲食の人にも出店してもらい、みんなが楽しめる場を作りたいです。

〈これからの抱負〉

神山で実践している働き方や暮らし方を、多くの人に伝える役割を担っていきたいです。テレビなどでは伝わりにくい、一段深いところも知ってもらえたらと思います。自分の経験を話すことで、神山に興味を持って遊びに来てくれる人が増えるといいですね。

